



# 学校だより

横浜市立矢上小学校  
発行日 令和5年4月28日

☺手をつなぎ 笑顔いっぱい 矢上っ子☺

5月号

「相手を思いやる気持ち」と「誰もが安心して学べる学校」

校長 岸 俊介

## ■「相手を思いやる気持ち」にあふれる矢上っ子～1年生を迎える会の場面から～■

先日行われた「1年生を迎える会」では、2年生から6年生の各学年が、プレゼントや出し物で1年生を歓迎しました。進級してからの短い時間の中で「1年生を喜ばせたい!」「1年生を笑顔にしたい!」という気持ちで準備したのでしょう。その「相手を思いやる気持ち」に私はとてもうれしい気持ちになりました。1年生もどうやら同じ気持ちだったようで、歓迎への返歌「ドキドキドン!一年生」を踊り付きで元気いっぱい披露してくれました。2年生から6年生も職員も一緒に踊りだしたく…なるくらいうれしい気持ちでした。「矢上っ子」の「相手を思いやる気持ち」素晴らしいです。

## ■「相手を思いやる気持ち」にあふれる矢上っ子～毎日の登校の場面から～■

私は今年度も矢上小交差点で登校見守りをしています。新年度になり、登校班のメンバーも新しくなりました。昨年度の学校だよりでも触れた、上級生が下級生のことを気遣いながら登校する様子、今年も受け継がれています。「相手を思いやる気持ち」が脈々と「矢上っ子」に根付いている原点は、きっと毎日の登校の場面にあるのかな…と思いました。「矢上っ子」の「相手を思いやる気持ち」素晴らしいです。

## ■「誰もが安心して学べる学校」って…「相手を思いやる気持ち」から始まる?■

「1年生を迎える会」に参加しながら、登校場面を見守りながら、私は子どもたちの「相手を思いやる気持ち」に触れました。私は、その時、うれしい気持ちと「安心」が心の中に湧き上がっていると感じました。

子どもたちの心の中にある「相手を思いやる気持ち」が膨らんで外に出てくる「機会」をつくる。「1年生を迎える会」や「毎日の登校」はその「機会」でした。もしも日々の学習の場面で「相手を思いやる気持ち」が湧き上がってくるような場面が増えたら…そのたびに「誰もが安心できる学校」に近づいていくのかもしれない。

## ■相手を思いやる気持ちを邪魔するもの!■

相手を思いやる気持ちを邪魔するものがあります。その一つに「こうあらねばならない!」「こうしなければならぬ!」という考え方があります。相手のことを考えているとき、自分の考えはいったん脇に置かれます。自分の考えから離れるため、「こうあらねばならない!」「こうしなければならぬ!」という考えから離れて相手に寄り添うためには、時間と気持ちの余裕が必要ではないでしょうか。

## ■相手を思いやる気持ちのベースは「気持ちと体力の余裕」■

入学・進級して1か月が過ぎようとしています。もしかしたら心も体も…ちょっと疲れがたまってきているのかもしれない。大型連休。「相手を思いやる気持ち」のベースとなる心と体のコンディションを整えるよいタイミングかもしれません。しっかり整えて、5月も笑顔いっぱいの矢上小にしていきましょう。

\*\*\*\*\*

【学校の様子をホームページにてお知らせしています】

各学年の活動や学校からのお知らせを掲載しています。ぜひご覧ください。

<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/yagami/>



↑QRコード↑